

新報 12/11号

仲間と共に労働運動の再構築を

反失業千葉県共闘会議

反失業・反首切り・
反合理化千葉共闘会議
議（小柳敏朗代表）は
11月20日、千葉市内で
第23回定期総会を開催
した。
24年度活動方針は
「闘う仲間と共に労働
運動の再構築」を基調
に①連統学習会の開催



JAL争議の現状を訴えるJHU和波副委員長

と交流の強化、②地区
労や地域ユニオンの
連携と共闘の強化、③
非正規・未組織労働者
の組織化、④JAL争
議や太陽会裁判事件等
に支援連帯すること
を確認し、役員体制と共
に承認した。

総会前に、JHUの
和波宏明副委員長が講

演を行った。

【講演概要】

1. 破綻経過

①自民党の運輸族の
誘致合戦と米国の要望
（狙いは国土の基地
化）で100もの空港
乱造。不採算路線の拡
大で赤字拡大。②乱脈
経営・ホテルリゾート
開発に970億円・ド
ルや燃料先物取引40
00億円超の損失。③
グループ会社8割が赤
字。

2. 整理解雇の実相
労組幹部・活動家を
含むパイロット81名、
客室乗務員84名、合計
165名を整理解雇。
経営破綻の責任を労働

者に転嫁。

3. 解雇したのは誰

国（更生計画策定、
管財人選任）と管財人
代理のJAL経営陣に
よる解雇。

4. 解雇の狙い

①物言う労働者の排
除と組合潰し、②整理
解雇の4要件骨抜き、
③倒産ビジネスの確立
リストラと新株の含み
益でボロ儲け、④民間
航空の軍事利用目的。

5. 解雇の必要なし

①更生計画利益目標
を超過達成②人員削減
目標を大幅に超過達成
6. 闘いの経過
①裁判所判決は解雇
有効（国策再建）の不

当判決、②「整理解雇
の人選について」高齢

・病歴は貢献度が低い
から合理性がある、③
東京都労働委員会幹旋
案は会社提案そのまま
解決金なし、業務委託
による300万円で終
結を。不当労働行為認
定で会社から解決金を
引き出す検討。希望者
はグループ会社を受験
できる。持ち帰り検討
だが、受け入れ困難。

7. なぜ闘うのか

①不当解雇撤回職場
復帰・人権を守る、②
労働者が安心して働け
る社会作り、③空の安
全運航確保、④平和を
守る。
(K)

組合員差別、不当解雇を許さないぞ！

週刊新社会 11/11号

東部けんり総行動

東部全労協（金澤新
悦議長）は11月25日、

東部けんり総行動を行
った。



ストライキで闘う市進支部の仲間

上野御徒町駅近
くの日立建機本社
前で行われた出発
式では、金沢議長
が主催者挨拶。
参加労組からの
激励と連帯の挨拶
があり、山口事務
局長が、①日立建
機（下町ユニオ
ン）②市進ホー
ルディングス（東部
労組）③JAL本

社（JHU）④新聞輸
送（全労）での支援、
抗議行動を行うと提起
して行動を開始した。
最初の日立建機で
は、フィリピン労働者
の一方的な解雇、団体
交渉の拒否に対して、
派遣会社のネッコーの
親会社である日立建機
は、子会社に対する指
導責任をとれ、社会的
責任を取れと要請・抗
議した。

2カ所目の市進ホー
ルディングスでは、委
員長の「定年」による
大幅賃下げをやめろ、
正社員との待遇差別是
正を求めたが、シャッ
ターを下ろし、受付の
戸を固く閉ざして、要
請書の受け取りを拒否
した。怒りのシユプレ
ヒコールの中、要請書
を郵便受けに投函し
た。

3番目のJAL本社
前では、不当解雇撤
回、早期解決を求める
要請行動に対して、会
社手配の警備員に入館
を拒まれた。
JHU山口委員長
が、「不当解雇を許さ
ない、解雇の撤回と重
期解決を行え」と決意
を述べた。

最後に、新聞輸送本
社では、分会長から会
社の欠員不補充、組合
員差別、組合間の差
別、新聞輸送からの働
退画策に強く抗議し、
労働者の生存権を守
うと訴え、職場の組合
員一人一人から闘う意
の表明があった。
今回の行動には15団
体延べ350人の参加
があり、「寄つて闘つ
て勝つ」の伝統ある東
部けんり総行動を終了
した。

（お互いさま 高橋）